

子どもの自立・就職に向けて
親ができることを一緒に考えてみませんか？

参加無料

～保護者セミナー～

開催日時

平成31年 **2月16日(土)**

時間：10:00～12:00

会場：福井県社会福祉センター(福井市光陽2-3-22)



特定非営利活動法人えちぜん青少年自立援助センター
就労支援センター すてっぷ

講師：施設長 西出 厚子 氏

テーマ：『親の目、子の目』

内容：講師によるセミナー・意見交換ほか

対象：無職のお子さんを持つご家族の方

定員：20名(事前にサポステふくいまで申し込み下さい)

【機関紹介】

平成21年 えちぜん青少年自立援助センター、フリースペースいっぽ(不登校・ひきこもり対象)開所

平成22年 法人格取得、子どもたちと体験学習を中心に活動

平成23年 就労支援事業所『就労支援センターすてっぷ』開所。以降 相談支援センターつくしんぼ・グループホームふれんず、就労支援センターはっぴい開所

その間、ひきこもり・不登校・ニートの人達の相談窓口として自立を目標に進めている。



日時：平成30年12月15日(土) **12月開催のセミナーレポート**

テーマ：「先走り行動をチェックしよう

～もしかしたら、その行動がお子さんの自立をさまたげているかもしれません～

講師：臨床心理士、臨床発達心理士 千崎 愛 氏

「行動は、結果に一番影響を受ける」講師の千崎さんからは行動の原理に着目し、親の先走り行動についてお話していただきました。「本来なら子ども本人が自分で考えて行動しなくてはならないことを親が先回りして行動をとっていませんか」私たち家族が先走り行動をしてしまう理由はさまざまです。「やらないと気を悪くするんじゃないか」、「またあの時のようになってどうしよう」そんな思い(自動思考)がよぎって、本人がやるべきことをつい、肩代わりしてしまいます。

講師は、この「自動思考」にくじけないために、「時間とともに自分も変わる、相手も変わること」、「いつも同じ結果とは限らない」、「評価軸は自分が行動できたかどうか」など自分で先に結論づけてしまわないことを話されました。また、ワークとして、あるケースについて参加者に親の先走り行動を確認してもらい、それらの行動のうち、やめることが簡単だと思う順番をつけてもらいました。今回のワークは、6月のセミナーに引き続いての回で、前回出席された方からは、先走り行動がこの半年にどのように変化したのかをお話していただきました。

参加者からは、「『受容姿勢』と『受容の枠組み』を同時に示すことを今後こころがけていきたい」との感想がありました。今後の取り組みとして、各自「先走り行動」についてチェックし、1月から3月まで毎月、変化を確認することになりました。

サポステふくいは、厚生労働省の委託事業で、福井県との協働で若年無業者の方の職業的自立支援を行っています。

ふくい若者サポートステーション (サポステふくい)

福井市光陽2丁目3-22 TEL: 0776-21-0311

(受付時間 月～金 9:00～17:00) E-mail: info@fukui-yss.com